

# 『コーヒー・ダイアリー』作／村野玲子

登場人物

女

人物1 (時報、駅員、兄、子供、フライトアテンダント)

人物2 (運転手、カオル、男、弟、ニカブの女)

※人物1・2がそれぞれの役を演じるかは、変更して構わない。

※女以外の役を演じる人数は、必ずしも二人に限らなくてよい。

1

女

どうも。初めまして。加藤といいます。あ、ほんとは〇〇〇〇(演じる俳優の名前)っていうんですけど、いま、というか、これからは加藤真弓です。そうですね、一時間くらい。すみません、お付き合ってください。加藤真弓、あだ名はカトウちゃんとかマユミンとかカトマユ、あと変わったところでマーゴンとか、いろいろ。マーゴンは小学校のときのあだ名です。強そうですね、マーゴン。小さいときって、男子より女子の方が大きかったり、力が強かったりするじゃないですか。その頃についたあだ名です。怪獣マーゴン。男子が鬼ごっこで逃げるときに呼んだんです。怪獣マーゴンが来るぞーって。そのあだ名、実は結構気に入って。まあ、その男子が初恋の人だったってのもあるんですけど。

だからこの日記にタイトルをつけました、マーゴン日記。

痛あ、いたたたたた。恥ずかしい。アウトですね、日記にタイトル。

でもね、いいんです。誰に見せるわけでもないんですから、思い切って、一人こっそり恥をかく。だって決めたんです、私。日記の中では決して自分を偽らないぞって。だって、日常生活って、嘘のつきどおしじゃないですか。いい嘘でも、悪い嘘でも。たとえばすごい疲れてるときに、大好きな先輩に「大丈夫？疲れてる顔してるけど」って言われたとしたら、そんなに疲れてなくても構って欲しくて「疲れてるうん」って言っちゃったり、めっちゃ疲れてても嬉しくなって「疲れてませーん」って言っちゃったり。いずれにせよ本当の状況とは違うことを伝えることになっちゃったりするじゃないですか。こういう小さなことが積み重なって、しばらくたつと、あれ、あたし本当はどうなんだろうって、わかんなくなっちゃったりするんです。しませんか？少なくとも、あたしはします。そしてそんな自分に、だいぶ疲れちゃったりしています。だからここで、せめてもの一息。

女、日記を開く。

一月三十一日、晴れ。マーゴン日記、記念すべき一日目。きょうはちよつと変わった一日でした。

2

女 (日記を読む) 朝、いつもどおり七時起床。携帯のアラームを止め、十秒間、布団の中でうだうだを許す。一、二、三、こうしてうちに覚悟が決まって行く、七、八、ああここまで。こうやって十を数えきるより前に、自分の意志で身を起こす。すると何かとてつもなく巨大な運命に打ち勝ったような気になります。うーんと大きく伸びをして、と壁にかかった時計を見ると時刻は八時十五分。携帯は七時過ぎ、時計は八時十五分。ちよつと待て、いったい何を信じたら。時報。ええと、一、一、七？

時報の声 午前八時十五分、四十秒を…

女 布団を蹴って飛び出します。体感時間で数秒後には近所の地下鉄の駅。って、何か混んでるな、今日。

構内放送を行う駅員。

駅員 お急ぎのところ大変ご迷惑をおかけしております。ただいまお隣の駅にて車両故障が発見され、運転を見合わせております。

女 (駅員を捕まえ) ちよつと、どういうこと？

駅員 (放送で) 運転再開の目処はたっておりません。振替輸送をご希望の方はチケットをお受け取りください。

女 (チケットをもぎとり) どこに行けば。臨時でバスが。

女 というわけでバス停へ。でも、うわあ、ものすごい列。バス来た、けど満杯で乗れない。一人ずつ、きゆうきゆうの車内に身を押し込む。まいったなあ、でも負けない。乗せて、乗せてください。乗せて、あつ。列からはじきとばされます。はあ、ああ、行っちゃった。間に合わないな。こうなったら、(手を挙げ) タクシー。

タクシー、来てとまる。

女　　お願いします。  
運転手　普通にいくと混んでるよ。  
女　　どうにかありませんか。  
運転手　高速乗る？  
女　　お願いします。  
運転手　はいよ。

タクシー出発。

女　　（日記を読む）今日に限っておかしな始まり。というか、単に寝坊しただけなんだけど。寝坊？いや違う、なぜか携帯が：違う。思い出した。夜、世界時計のアプリをいじってたんだ。なんちゃって旅気分、お手軽無料の現実逃避。それでちようどバリ島の時間にあわせてみてたら、急にカオルから電話があつて。

（女電話に出て）はい、もしもし。

カオル　彼氏と別れたあ。

女　　えっ？

カオル　（泣く）ああーん、ああーん、ああーん。

女　　カオル、ねえカオル、聞いて。いまどこ？

カオル　わかんない。どこかわかんない。もう一生どこかわかんない。ああーん、ああーん。

女　　カオル。ねえカオル。（壁の時計を見て）まだ終電あるからさ、とりあえず家に来る？

カオル　ああーん、ひぐひぐ、いぐ、う、う、ああーん。

女　　というわけでカオルを回収。どこでどういたのか、泥だらけのカオルにシャワーを浴びさせ替えを貸して、深夜三時くらいまで堂々巡りの泣き言にただじつと耳を傾ける。明日も朝から仕事だけど、十年來の親友なので仕方がない。でも聞いているうちについたた寝。はっ、ごめんカオル、あたし寝ちゃって：と気づいたらカオルはいませんでした。ええ、おい。カオル、カオル、カオルやあい。気配もない。ああ、まあ、でも、うん。まさか死ぬまい。とりあえず今日のところは、あたしは寝よう。明日も朝からミーティングだし。ごめんカオル、おやすみ世界、とそのまま寝る。アラームはちゃんとセットした。ただしバリ島の時間のままで。ああ、それで。

タクシー、急停車。

女 何？

運転手 つきましたよ。

女 あ、ありがとうございます。すみません、おいくらですか。

そこへ男が後部座席に乗り込んでくる。

男 すみません、羽田まで。

女 は？

男 おはよう。

女 あ、先輩、おはようございます。て、え、何で？

男 (運転手に) すみません、飛ばしてもらっていいですか。はい、これ。

女 え？

男 地図も入ってる。これで鳥取まで行って、あと現地に着いたらタクシーで。空港から二十分くらい。あとこれ(手提げの紙袋)

女 鳥取？

男 (運転手に) すみません、高速使ってください。

女 え、あの、

タクシー、加速。

二人、上半身が後方に振られる。

男 クレームだよ。こないだ新しく契約した農家、あつただろ。あそこから買い上げた豆に、リベリカ種が混ざってた。  
女 えっ。

男 原因をいま地元の組合に調べてもらっている。そっちは僕がやる。君は卸先の店に飛んでくれ。

女 どれくらいの割合で混ざってたんですか？

男 それも見えてきてもらいたい。何しろ、先方いたくご立腹で、とりつくしまもない。うまくいけば二時間ぐらいで着く。出来る限り状況を調べて、先方が納得するならば、ブツも引き上げてきてほしい。保存状態に気をつけて。  
女 わかりました。

タクシー、到着。

二人の上半身、前方に振られる。

女、降りる。

女 じゃ。  
男 あ、あのさ。今夜、予定は？  
女 あ、いえ、特に。何か？  
男 よければ、お互い報告がてら飯でも食おう。じゃ。（行く）  
女 ああ、はい、喜んで。お気をつけて。（手を振る。しばし見送り、笑顔でぼんやり  
佇む）ああ、しまった、いかんいかん。さ、仕事。

3

女 （日記を読む）私の勤務先は、フェアトレードを行うカンパニー。フェアトレード  
とは、フェアなトレード、すなわち、農家などの生産者から適正価格で直接商品を  
買う仕組みです。って、ええとつまり、マージンとりまくる中間業者とかを入れな  
いで、直接生産元からそこその値段で買いましたよってシステムです。そうする  
ことで、生産者の環境を守ろうっていう話。働いた分モト取れないと、商売続かな  
いですからね。資本主義社会の大原則。

扱ってる商品は、バナナとか、カカオとか、コーヒーとか。取引先はアフリカとか、  
東南アジアとか。チームごとに違います。うちの会社は、職員がチームを組んで、  
契約先の農家や組合を見つけて、輸送の手配、仕入の管理、販売促進、卸先との契  
約、広報活動、在庫保管、アフターケアと、全プロセスに責任を持って関わる業態  
をとっています。作業ごとの縦割りじゃなくて、案件ごとの分担。

これがまた、かなり大変というか、その分かなりやりがいがあるというか。それぞ  
れのチームが独立した会社みたいなものですから。

いまうちのチームが扱ってるのは、エチオピアの、とある農家のコーヒー豆。こな  
いで行って、契約先を開拓してきたんです。かなりいい豆で、先輩なんかぞっこん  
惚れちゃって。あ、豆にですよ。で、サイトで情報公開したら、さっそく鳥取のカ  
フェからサンプル申込みがあつて。検討の結果、定期的に仕入れたいと。よっしゃ  
あ、売れた。嬉しいもんです。みんなで祝杯を挙げました。カンパニー。先輩なん  
か、珍しくぐでんぐでんに酔っ払っちゃって。ほっぺにちゅーってされちゃいまし  
た。えへ。

っていうことがあつたばかりなんですけど。クレームだなんて。まいったな。ええ  
と、地図はと。



兄 文化なんかねーって。  
弟 文明なんかねーって。  
兄 人類なんか住まんって。  
弟 砂丘しかねーって。  
兄 人は言う、鳥取は万物の死に絶えた最果ての地だでって。  
弟 ガッデム、シット。  
兄 裏日本をなめないや。  
弟 だけーわしらーは、逆にこの砂丘で、人類の文化の象徴であるコーヒーを提供すー  
兄 ことに決めただがな。  
兄 しかも、大資本が出さんやーな、コストパフォーマンスを度外視した、超ハイクオ  
弟 リティナーなスーパープレミアムコーヒーをだで。  
兄 一日限定二十杯、丁寧に時間をかけて焙煎すー。豆も水も超最高級。  
兄 目指すは乾いた旅人が夢見る、砂漠のなかの一滴の水。  
兄弟 それ「すなば珈琲」。  
兄 物珍しさだけでやってくーやつは、砂丘の砂に足をとられ、そがにみやすーに近づ  
兄弟 けん。  
兄 ほんにこのコーヒーを味わいたいもんだけが、はるかなる砂山を越えてここにた  
兄弟 どりつけーだ。  
兄 周りをよー見てみーや。たどり着けーで力尽きた旅人の骨がそこらじゅう埋もれ  
兄弟 とーで。  
兄弟 一杯に命を懸けー。そーこそが真のコーヒー通。  
兄弟 そのコーヒーに、粗悪な味わいが混ざつとーとしたら？  
兄弟 ガッデム。  
兄 (女に) おめーは客にそのコーヒーが出せーだか？  
兄弟 出せません。  
兄 そうだらー。  
兄弟 どがにしてくれーだー。  
兄弟 どれくらいの分量が混ざつてたんですか。  
兄弟 一キログラム中に三粒だで。(渡す)  
兄弟 (受け取る) 三粒。  
兄弟 焙煎中に、わしが見つけただがな。  
兄弟 これは、基本的に西アフリカで出回ってるものです。しかも主に現地でしか消費さ  
兄弟 れない種。何でエチオピアの豆に。  
兄弟 知らんわいや。どーすっだいや。これじゃ店、開けんがな。  
兄弟 わかりました。とりあえず、大至急、新しい豆をお持ちします。  
兄弟 新しい豆ってやー？

何分後だいや。

分は無理ですが、とにかく早く、ええと、3時間以内に。

だらうか。オーブンに間に合わんがな。

ああ、ええ、すみません、ですが一生懸命いらしてください。たまたまお客様に、せめて午後までお待ちいただければ。

あほ言うないや。来(く)ーのは生豆だーが。焙煎にどんだけ時間かかーと思つとーだー。

店の営業のこと、何もわかつたらーへんがな、姉ちゃん。

すみません。

ダメだら、おめー。わりーが契約切らしてもらーで。

そんな。

フェアなトレードが聞いて呆れーわ。新しい農家を探すだわい。

おー、さーしー休みにすーだ。ホームページにお知らせ、出せやい。

ラジャー。

あほげに命落とされちゃ叶わんわ。わしは新しい豆を探す旅に、

待つて、待つてください。この豆、どうでしたか。リベリカ種が混ざらないうちは、どうでしたか。

最高級品だったで。酸味、苦み、甘み、香り。どれをとつても一級品だで。

焙煎によって変わー、日によって変わー、挽き方によって変わー、水によって変わー。どがな姿も魅力的だで。

惚れただがな、わしは。

わしもだで。

残念だったな。(行こうとする)

わかりました。ではこうするのでどうでしょう。この豆に、二度と違う種が混ざらないように、私は命を賭けます。これから現地に行つて原因を探り、同じ過ちが繰り返されないよう、厳しく指導してきます。もし同じことが起きたら、この命、差し上げます。

みやすげに言うないや。

みやすげに？

簡単につてことだで。

簡単にじゃありません。あたしだつてこの仕事に賭けてんだ。なめてもらつちや困ります。

三人、にらみ合ひ。

兄

わかつたわ。

女弟 女兄

女兄 弟兄

弟兄

女兄 弟兄 弟女

女兄 女弟

兄

女

女弟 女兄

兄ちゃん。

弟 ありがとうございます。

兄 ただしチャンスは一回だけだ。同じこと繰り返されーだったら、契約切らしても

らーで。

弟 もらーで。

女 わかりました。必ずや原因、突きとめてきます。あと、あのこれ（菓子折りを）

兄 いらんっちゃ、そがなもん。現地に持ってけーや。向こうじゃ高級品だけーな。

女 はい。

兄 よろしく伝えとくだ。おめーらの豆は最高だでつてな。

女 わかりました。

兄 頼んだで。

弟 気ーつけーや。

女 ありがとうございます。行ってきます。

（日記）というわけで、急ぎよエチオピアに行くことになりました。

5

女

（日記を読む）関空からクアラルンプール経由でアジズアベバへ。窓の外に広がる雲海、その切れ間からたまに覗く、広く輝く大海原。思えば遠くまで来たもんだ。あたしもそうだけど、人類が。弥生時代の、古代アテネの、古代インカのいったい誰が、こんな景色を見られると思った？ 手を伸ばせば、その先は宇宙。感心です、人類。

つて、そんなこと言ってる場合じゃない。ああもう、どうしてこんなことに。やっぱ現地にチームの誰かが残って、クオリティチェックするべきだったんだな。失敗した。まだ農家が、おまかせできるほど自立してないんだ。ああ、ガキだ、ガキの使いだ。発展途上の仕事だよ。そんなんだから大資本に買ったたかれたりするんだ。つて。てめえの食い扶持ぐらい、てめえの力で死守しろよ。フェアトレードの、フェア以前の問題だつて。まずは最低限の責任果たしてくれないと、こつちだつてケツ持てないよ。

つて、ああ、ごめんなさい。けばだつてる。あたし完全にけばだつてる。品質管理はこつちの仕事。彼らの仕事は生産まで。ああもうほんと、ごめんなさい。大丈夫、彼らは悪くない。落ち着いて。ふー。

でもさ、だつてあたし、いつ帰れるんだろうな。日本に、東京に。明日？明後日？わかんない。あーあ、先輩とご飯食べたかったな。おつかれ、（乾杯）カチン、な

んちって。せんぱーい。会いたいな。日を改めて報告会って無理かな。無理か。先輩忙しいもんな。あー。回数券発行してくれないかな、先輩とのご飯回数券。ワンチケット、一回二時間五千円。いや五千円高いか。三千円？

いや、なんて言ったられない、仕事仕事。あたしはこの仕事に命賭けてるんだ。どうにかしなきゃ。どうにか。って、飛行機の中で息巻いてもしょうがないか。まだインド洋あたりかな。着く前に、ちよつと寝よう。昨日カオルのおかげで寝不足なんだ。ってそうだカオル、生きてんのかあいつ。ああ、それなりに心配だ。帰ったら電話してみよう。

青い空が目にはささる。東京での日は沈んだな。おやすみ世界、この身に許せ、束の間の休息。とエコノミーシートで目を閉じる。

6

飛行機、着陸。

女の体、前後に大きく振られる。

女

やってきましたエチオピア。国内線に乗り継いで南西部のとある村へ。ええと、先輩からファックスでもらった地図はと(地図を開く)経度 6.948238638117019' 緯度 36.5899658203125'だから経度と緯度で書くなつたの。ミスタ・タスファイ。タスファイさんね。ん？注意書き？タスファイとは、希望を意味する。だからそういう豆知識は今いらんつたの。つともう。

あ、あの女の人に聞いてみよう。

エクスキューズミー、エクスキューズミー。ドウユノウ、タスファイズ・カファイフアーム？ あ、イングリッシュ、ノー？ サンキュー。

(別の男性に) エクスキューズミー。あ、ノーノー、葉っぱいらぬ。うん、だいたいよぶ、ノーサンキュー。

(子供に) ハイボーイ、エクスキューズミー。え、何？ ボンジュール？ ああ、だめ、フレンチ、あたしがノー。ソーリー。アイム・オンリー・ジャパニーズ。

(ぶつかり) あつ、ソーリー、って牛？ そういや、みんな牛飼ってんな。きつと実用的なのね。

あつ、人、(遠くに) おおい。ハロー。ボンジュール。うわ、すつこい笑顔で手を振りかえしてくれる。けど、そういうことじゃないんだよなあ。

ああもう、現地ガイドがどこに居るかすらわからない。

暑い。確かここらへんなんだけどなあ。(呼吸があがる) 苦しい。運動不足かな。

いや違う、ここ標高たかいんだ。あ、だめだ、めまいする。(立ち止まる) 高山病かな。どこかに座って、少し休もう。

子供、女の脇をすり抜け、紙袋を奪って逃げる。

女  
えっ? と思った時にはもう遅い。子供は菓子折りの入った紙袋を持ってはるか遠くをかけていく。待て、こら、待って、待ちなさい、って、ああ、だめだ、めまいが。

女、気を失う。

7

ニカブ(目出しスカーフ)をかぶった女と、ショットガンをついだ子供がいる。  
女、うめき、気がつく。

女  
うう…。

子供、女にペットボトルの水を示し、飲むかと示す。  
女、うなづく。  
子供、女にペットボトルを渡す。女、飲む。

女  
サンキュー。

子供、元の位置に戻り、ショットガンをかつぐ。

女  
…。ヒア、イズ、タスファイズ・カファイ・ファーム?

ニカブの女、子供に指示を出す。  
子供、嫌がる。  
ニカブの女、手を鳴らす。  
子供、出て行き、菓子折りを持って戻る。

子供、女に菓子折りを返し、元の位置に戻り、ショットガンをかっぐ。

二人、そっぽを向く。

女 あー。うーん。そうね。

女、手を叩く。

二人に菓子を示し、食べるか？とうかがう。

子供、ニカブの女を見る。

女、菓子折りの包みを開こうとする。

二人、身構える。子供は銃を向ける。

女、落ち着けと示し、菓子折りを開く。

女 トーキョー・バナナー。

女、一つ取り出し、食べる真似をする。

女、菓子を二人にすすめる。

女 (アクションをつけて) お水、もらった、お礼。

子供、受け取る。

女、ニカブの女に渡す。

女、包装を取って、食べてみせる。

女 うん、おいしい。

女、二人にすすめる。

二人、包装を取り、食べる。

女 どう？ バナナ？

子供 (うなづく)

女 デイス・イズ、トーキョー・バナナー。ジャパニーズ・スペシャル・スイ  
ツ。(差出し) アナザー・ワン？

子供 (ニカブの女を見る)

ニカブの女 (小さくうなづく)

子供 (菓子を受け取る)

女 よかった、無駄にならないで。奥様もどうぞ。ほら遠慮しない。(渡す)

二人、食べる。

女 あー。(アクションを交え) アイム・ルッキングフォー・タスファイ。タスファイ  
ズ・カファイ・ファーム。

子供 (この場を示す)

女 ここ？ タスファイ？

子供 (うなづく)

ニカブの女 (手を叩く)

子供 (黙る)

女 ああ、ええとね、(ポケットから三粒の豆を出し、アクション交え) これ、見たことある？カフェ・リベリカ。

二人、寄って見る。

女 わかるかな。普通のより、ちょっと細長いの。

子供、腕にあるコーヒー豆で作られたブレスレットを見せる。

女 あ、これ、リベリカ種。

子供 (ニカブの女の腕を示し、彼女のブレスレットが壊れてしまったとアクションで伝える)

女 ブレスレットが壊れた。それはいつ？何のとき？(摘むアクション) 摘むとき？

(ざらざらと広げるアクション) 選別？(ハンドルを動かすアクション) 洗うとき？(袋詰めをするアクション) 袋詰めするとき？

二人 (袋詰めのアクション)

女 それだ。(子供のブレスレットを外し) これ、ノー。オーケー？(アクションを交え) コーヒーに、まざってた。ノー。オーケー？

二人 (うなづく)

女 よし。

女、子供の銃を奪い、子供を人質にとる。

女 ソーリー、ソーリー。アイ・マスト・ゴートウ、ジャパン。プリーズ、どいて。

女、子供を人質に取りつつ、部屋の出入り口までにじり寄る。  
出入り口で外の様子を覗く。

女 誰もいない、と。すみません、ちょっとこれ（ショットガン）借りますね。あとこれ（ブレスレット）没収です。ネバー、ユーズ・デイス、アットワーク。オーケー？

二人  
（うなづく）  
じゃ、また。

（日記）と、一目散に駆けだす私。アイム・フリー。いやまだ半ば。とにかく日本へ帰らなくては。

8

女 コーヒーノキで身を隠しながら、大通りを目指す。アジア人の一人歩きは目立ちます。追って来る気配はないと。あの人たち、なんで武装なんかしてたんだろ。テロリストかな。あつ、そこではたと気づきます。あたしが怪しかったから。でも、ぶったおれた旅人一人介抱するために、わざわざ銃を持ち出すなんて。どうなってるんだ、世の中。でも、って言っているこのあたしが、今はその銃をかつぐ。いやだな。人間不信の連鎖はこうやって伝播していくのか。あ、車発見。（手をあげ）へい、へい。空港まで乗せて。エアポート。（違う車）おい、おい、止まってよ。（違う車）ねえ、ねえ。行っちゃうなあ。って、この（銃）せいか。

こんなん持つてる奴、誰も乗せたくないよね。

（銃を捨てる。ヒッチハイクをする）

エアポート。エアポート。エアポート。

車、止まる。

運転手 エアポート？

女 ヤー、エアポート。あ…バットソーリー、ノーマネー。でも、ちょっと待って。

（「東京ばな奈」を出す）

ジャパニーズスイーツ、オーケー？

運転手 ヤー、オーケー、カモン。

女 やった。出してみるもんだ。

女、菓子を渡し、乗り込む。  
車、発車。

女 流れゆく景色を見ながら、命あることに感謝する。そうだ、カオル元気かな。帰ったら電話してみよう。

車、到着。

女 ありがとうございます。また来ます。

女、運転手と握手。  
運転手、行く。

女 そこからは、町に出て会社に国際電話をかけ、今いる位置の経度と緯度を知りたがる先輩をなだめすかし、どうにかこうにか成田行き航空券を手配。はい、やっと帰れる。いい加減汗臭い、あたし。帰ったらまずシャワー浴びよう。アジズアベバの国際空港にたどりつき、出国審査を終え、やっと飛行機の座席で一息。さて、これからまた長い旅路。

フライトアテンダント、やってくる。

フライトアテンダント May I help you?

女 あー。そうね。コーヒー・プリーズ。

フライトアテンダント All right. (行く)

女 はー。マーゴン日記、記念すべき初回。長い長い一日でした。おしまい。コーヒー飲んで、寝よう。明日は明日の風が吹く。

(了)